

着榧性桑品種における榧の熟期と特性

澤口 拓哉

桑榧(桑の果実)は、果実酒、ジャム、ゼリー、羊かん等に利用され、本県でもジャムについては少量ではあるが製造・販売されている。今後、桑榧の需用は、自然食ブームなどに伴って拡大していく可能性もあるが、常食の果実と異なり生産に関しての知見が少ない。そこで、着榧性品種の榧の熟期等についての調査を行ったので、その結果を資料として供する。

調 査 方 法

1. 調 査 圃 場

- 1) 場 所: 岩手県蚕業試験場附野桑園遺伝資源保存圃(胆沢町)
- 2) 植 付 年: 平成3年
- 3) 植栽距離: 2.0m×2.0m
- 4) 施 肥 量: 10a 当たり年間施肥量 N 15kg, P₂O₅ 8kg, K₂O 10kg
- 5) 調 査 年: 平成7年(植付5年目)

2. 糖 度 の 測 定

完熟した榧を収穫後、-20℃で冷凍保存し、測定時に自然解凍して家庭用ジューサーミキサーにかけ、得られた汁液の糖度(Brix度、ショ糖換算)を屈折糖度計により測定した。この測定には、岩手県園芸試験場の協力を得た。

調 査 結 果

1. 榧 の 熟 期 (表1)

榧の熟期は、圃場全体では6月中旬から7月下旬までに及んだ。品種別に榧の熟期を見ると、多くの品種では6月中旬から7月上旬までの2～3週間位であった。また、「多胡早生」、「フィカス」では熟期が長く、約25日間に及んだ。

表1 着榧性桑品種の榧の熟期

品種	月 旬	6 月			7 月		
		上	中	下	上	中	下
剣 持			○	○			
大 島 桑			○	○	○		
多 胡 早 生			○	○	○	○	
水 沢 早 生		○	○	○	○		
一 ノ 瀬			○	○	○		
国 盛		○	○	○	○		
しんけんもち		○	○	○			
みつしげり		○	○	○			
フィカス				○	○	○	○

2. 榎の重量(表2)

榎1個の平均重量は「フィカス」で3g以上、「大島桑」、「みつしげり」で2g前後と桑榎としては大型であったが、他の品種では1.3g前後であった。

表2 着榎性品種の1榎重

品種	月旬	採取月日				平均
		6/21	6/28	7/5	7/12	
剣持		1.48g	1.12g	—	—	1.30g
大島桑		1.79	2.23	2.32g	—	2.11
多胡早生		1.63	1.31	1.57	—	1.50
水沢早生		1.49	1.42	1.11	—	1.34
一ノ瀬		—	1.25	—	—	1.25
国盛		—	1.31	—	—	1.31
しんけんもち		—	1.16	—	—	1.16
みつしげり		1.88	1.95	—	—	1.92
フィカス		—	2.32	3.31	3.48g	3.04

3. 榎の糖度(表3)

糖度(ショ糖換算)は「一ノ瀬」、「国盛」、「フィカス」では10%以下であったが、他の品種では11~12%であった。

表3 着榎性品種の榎の糖度

品種	月旬	採取月日				平均
		6/21	6/28	7/5	7/12	
剣持		12.6%	10.8%	—	—	11.7%
大島桑		10.8	13.0	9.8%	—	11.2
多胡早生		12.7	11.1	11.0	—	11.6
水沢早生		11.2	12.0	12.8	—	12.0
一ノ瀬		—	8.7	—	—	8.7
国盛		—	8.8	—	—	8.8
しんけんもち		—	12.0	—	—	12.0
みつしげり		11.3	11.9	—	—	11.6
フィカス		—	9.4	9.1	9.8%	9.4